

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

帝人株式会社 殿

令和6年12月6日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 経営のコミットメントに関して、経営側での課題感が見えにくい。現状で行き詰まっている点と解決の方向性も示していただきたい。
- ・ ルール形成や標準化に関しては事業の海外展開の視点を入れて検討すべき。
- ・ オープン＆クローズ戦略について、特に、クローズ戦略の部分で、技術をノウハウとして秘匿化し、特許化はしないという方針を示されているケースが見られたが、社内での適切なノウハウ管理を行うことを前提としつつ、海外含む他社による知財化のリスクも勘案しながら開発を進めてほしい。
- ・ 現在開発している製品を進めることは良いが、続く製品の選定・初期検討を進めていくべき。菌株の開発にも時間がかかるので、複数の製品を同時並行で進めることが大事。
- ・ 技術を持っていることから、ISO化を主導して、売上や企業価値に結びつける主体的な活動に期待したい。その際、オープン戦略、社会実装を進めるという観点で、取組を進めてほしい。
- ・ 原料のバイオ転換を進めていくにあたり、マスバランス方式の動きも注視しながら、事業展開を検討してほしい。
- ・ バイオものづくり革新を自ら推進していくような取組を事業ビジョンに盛り込みつつ、本事業に対するより強い意気込みを期待する。

以上